

まごころ通信

平成19年7月20日発行

第8号

(施設紹介)

ぴいぱぶワークショップ



ぴいぱぶワークショップ（心身障害者就業促進事業）の会員さんが作られた、牛乳パックを使った和紙の飾り物。（4面に関連記事）

主な内容

ぴいぱぶワークショップ	1
平成18年度事業報告・収支決算	2
共同募金報告	3
福祉施設紹介	4
朗読ボランティアひびき・ふれあいいきいきサロン	5
介護予防教室・ボール運動教室	6
まごころ（浄財寄付）	7
評議員紹介	8

ae 社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

- 本所・大朝支所 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝2513-1
大朝福祉センター内
電話(0826)82-2680 FAX(0826)82-2778
- 芸北支所 〒731-2322 広島県山県郡北広島町細見161
電話(0826)35-0144 FAX(0826)36-3013
- 千代田支所 〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田504
電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071
- 豊平支所 〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷1088-1
電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005



共同募金会北広島町支会

赤い羽根共同募金に、毎年暖かいご支援をいただき誠にありがとうございます。北広島町支会では、平成18年度から共同募金のPRと地域福祉に住民自ら参加していただくことをねらいとし、申請方式を導入しました。北広島町域を範囲として、その区域内の地域福祉や地域づくりの活動を推進している団体等の事業を支援することを目的とし実施していきます。

平成17年度(平成18年度充当分)の報告

一般配分金合計

6,338,353円

内訳

高齢者福祉活動事業	710,000円
障害者福祉活動事業	640,000円
児童・青少年福祉活動事業	1,050,000円
住民全般福祉活動事業	3,938,353円
合計	6,338,353円



壬生保育所

子ども達は、プールでの水遊びが大好きです！平成17年12月の大雪により、組み立て式プールが全壊しました。しかし、新しいプールを購入することが出来ました。配分金ありがとうございました。

配分金で太鼓を購入することができ、子ども達の活動範囲が広がりました。「トン・トコ・トン、ヤー！」

利用者の声



芸北つくし保育園によるつくし太鼓演奏(仙水園にて)

今後の活動年間スケジュール(予定)

- ◇配分対象期間… 毎年4月1日～翌年3月31日
- ◇申請募集期間… // 2月1日～2月末(1ヶ月間)
- ◇審査委員会… // 3月中旬
- ◇配分決定通知… // 4月下旬
- ◇配分金交付時期… // 6月～7月
- ◇募金活動… // 10月～12月31日

平成18年度の共同募金実績額合計

7,033,782円

内訳

皆様からいただいた募金は、すべて広島県共同募金会へ送金しました。この実績の内から、一般配分金 4,559,782円、が北広島町支会へ配分され、申請のあった団体へ平成19年度事業分として配分していきます。

戸別募金	3,660,500円
街頭募金	132,031円
法人募金	1,993,603円
学校募金	80,237円
職域募金	406,602円
イベント募金	88,635円
その他の募金	672,174円
合計	7,033,782円

平成18年度事業報告

期間/平成18年4月1日～平成19年3月31日

<総括>

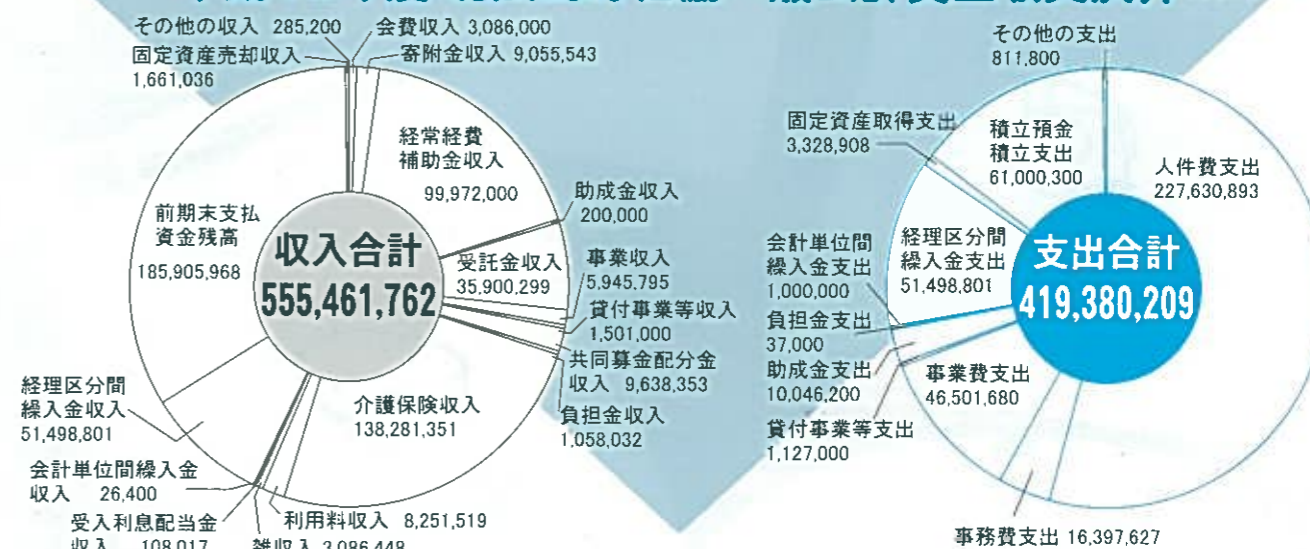
合併2年目を迎え社協の体制もまだ十分ではない状況のなか、国の介護保険法改正等による在宅介護支援センターの廃止や介護予防事業であった自立デイの廃止などの大幅な変更があり、本会職員の体制も変更を余儀なくされました。

介護保険事業についても、職員体制が整備できない福祉用具貸与事業や、ニーズが無くなった訪問入浴介護事業は平成18年9月末で事業を廃止しました。福祉用具貸与事業の利用者は、他の事業所へ移行していただくこととし、利用者の不安を最小限にするよう努めました。訪問入浴介護事業は、利用者やその家族にご理解いただき通所介護等の他のサービスに変更していただきました。

住民から福祉の低下を叫ばれる中、公からの公助に頼るのではなく地域福祉は住民自らによる自助と地域による共助の考え方を推進するよう転倒予防やサロン活動などの事業を展開しました。

職員の研修については、職員の意識統一と資質向上を内容とした人間関係トレーニング研修を、平成17年度から平成18年度も継続する形で実施しました。また「共同募金」を研修テーマとして職員全員で協議し共同募金について再認識することができました。更に、職員個々の資質向上のためチャレンジ目標を設定しその目標達成に向かって努力しました。

平成18年度 北広島町社協一般会計資金収支決算 (単位:千円)



平成18年度 さあくる会計資金収支決算 (単位:千円)



朗読ボランティアひびき(外出交流会)

季節の花を楽しむ

6月15日、毎年恒例となっている朗読ボランティアひびきの皆さんと声の広報テープ利用者の皆さんとの交流会が湧永庭園で行われました。

心配された天候も、皆さんの思いが通じたのか過ごしやすい散策日和に恵まれました。バラのゲートから遊歩道に入るとバラと緑の心地よい香りに包まれながら、庭園内の散策です。

目の不自由な方は花の色や花びらの説明を受

けながら花を鑑賞し、バラを触って花びらの感触や香りを楽しみました。「今度は果物狩りじゃね。実る前に名前を書いて予約しとこうか」と参加者は冗談交じりに次の交流会の期待が膨らみます。

今回は介助ボランティアもみじ2人の方が初めて参加され、交流の輪が広がりました。花を堪能した喜びや日頃のテープの感想など「心」のふれあいのきっかけとなった一日でした。



は～
いい香りが
するね



食後の
デザートは
いかが？

ここにこればあったがい！ひなたぼっこのように。
そんな、ふれあい・いきいきサロンを目指して



サロンを通して考える地域の福祉、『助けて』と云いやすい地域づくりをめざして『北広島町発・ふれあいいきいきサロン研修会』を全4回で開催しました。講師にはNHKで放送されている「ご近所の底力」を演出している木原孝久氏主催の住民流福祉総合研究所広島研究研修センターの酒井保主任研究員ヲお願いいたしました。延べ研修時間8時間、延べ参加人数454人。様々な出会いに感謝いたします。

助け合い・支え合いを意識しないとできない今のご時世。「あなたは昨日何回笑いましたか？」「今日何回笑いましたか？」そして「10年後、20年後あなたは笑顔で暮らせていますか？」

まずは自分に置き換えて、発想の転換にチャレンジしましょう。私たちの地域で生活できてよかった！と誰もが思える地域。あなたのぼやきは、あなたひとりのものではありません。いっしょに考えていきましょう。北広島町社会福祉協議会は、全力で後方支援いたします。

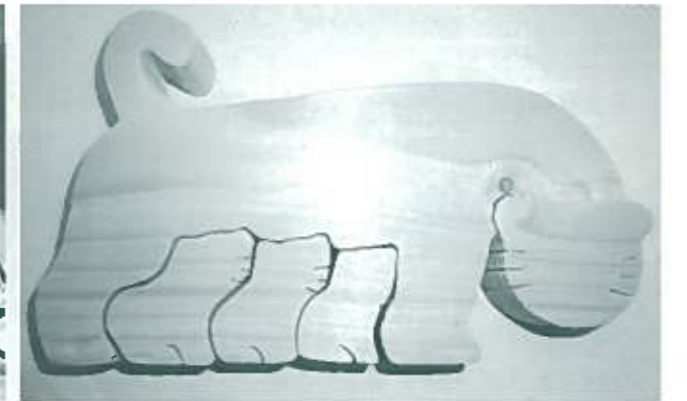
福祉施設紹介

ぴいはぶワークショップ (心身障害者就業促進事業所)

北広島町内にある障害者の施設紹介として、本誌前号(第7号)で、「芸北小規模通所授産施設さあくる」の紹介をしましたが、今回は、有田にある「ぴいはぶワークショップ」の紹介をします。

ぴいはぶワークショップは、障害の有無に関わらず、人々が共に暮らすあり方を求め、障害のある人たちに労働の場を提供することを目的に、1994年(平成9年)4月に誕生しました。今では各種イベントへの参加者も増え、多くの方に応援していただき、仲間の健康に気をつけながら、日ごろの活動をされています。

- 運営主体：ぴいはぶワークショップ運営委員会
利用者の保護者・家族の代表、関係団体、個人、学識経験者および
ぴいはぶワークショップ職員で構成
- 利用者：北広島町に居住する15歳以上の障害のある人、または運営委員会で承認された人
- 作業日：月曜日から金曜日までの週5日
作業時間：10時から15時
作業内容：押し花入りの名刺・牛乳パックでつくった和紙・かべかけ・トールペイントリース・ポプリ(におい袋)・袋もの・正座いす・クッキー・木工・陶芸・アルミ缶つぶし・野菜づくり



ぴいはぶ職員さんの声

皆様のご協力・ご支援をいただき無事、平成18年度を終え、新年度を迎えることができました。

仲間の1人が体調を崩して休んでいたため、みんな心配をしていましたが、現在すっかり元気になり、みんなと一緒に日々仕事に励んでいます。

また、最近3人の仲間が、アルバイトやボランティア(有償)に行くようになり、それぞれ休まず一生懸命がんばっています。仲間のがんばっている話を聞き、他の仲間のみんなは「どんな仕事をやるのかな?」「お給料はいくらかな?」など興味津々、刺激を受けている様です。

皆様のご協力・ご支援をいただきながら、一人でも多くの仲間が「ぴいはぶ」から巣立ち、地域社会・地元企業の一員として自立していけるようにと願っています。これからもよろしくお願いたします。

月曜日から金曜日までの10時から15時まで開いていますので、見学してみたい方は、いつでも立ち寄りください。

- お問い合わせ先
ぴいはぶワークショップ
〒731-1533 北広島町有田28番地の1
電話(ファックス) 0826-72-8341

ボール運動教室「でかけよおや」～息してますか～



豊平会場

「まあ元気だった？」とボールを触りながらの挨拶。ボールに触れば自然に体が動いている教室開始前の風景です。コーチズの皆さんの「こんにちは」という元気な声に負けにくいぐらいの大きな挨拶で教室が始まります。「ボールを落とす人はいませんよね～」の声にボールがポタポタ落ちる音。ワーワーキヤーキヤー笑ってごまかしたり、息をするのを忘れるくらい真剣に取り組まれたり…

「息してますか」の声



豊平会場

にまた笑い声。

1時間半の教室で、体調を確認しながら、ボールを使って、立ち上がる、ふらつかないで歩く、物をつかむなど生活に密着した運動を行っています。笑っているうちに知らず知らずのうちに身体も心も頭も動かせる教室です。「でかけよおや」と声をかけ合っておいで下さい。

◇地域のために役立てて！

広島県立千代田高等学校生徒会から地域のために役立ててくださいと、文化祭のバザー収益金を寄付していただきました。

【寄付の理由】

私たち千代田高等学校生徒会は6月16日(土)に「Color ～それぞれの色、それぞれの絆(きずな)」をテーマに、平成19年度文化祭を行いました。

地域の皆さんにもたくさんご来校いただき、吹奏楽・軽音楽・神楽などのステージ発表や、教室展示・各室展示・各クラブ展示をご覧いただき、励ましのお言葉をかけていただきました。

私たちが千代田高校で勉強し、学校行事やクラブ活動など高校生活を楽しく過ごすことができるのは、家族や地域の皆様のおかげだと感謝しています。

バザー収益金の一部をぜひ地域のために役立ててください。



副会長 境 知世君 会長 石丸盛司君 社協事務局長 中屋原 薫

介護予防教室

～上手に使う介護保険～

「介護保険を知ろう」というテーマで毎月、介護予防教室を開催しています。

5月は「介護保険の基礎知識」というテーマで実施しました。使わなきゃ損だとか、なるべく長く使わずに過ごしたいとか皆さんの思いも様々でした。

6月は地域包括支援センターの沖田さんを講師に、「介護予防」について学習しました。地域包括支援センターを初めて知ったと言う声も出ました。

7月以降は、生活の中の悪循環を断ち切り毎日元気な生活をサポートしてくれる事業や介護保険の財源となっている介護保険料などを学習していきます。介護保険が誕生して7年、まだまだ成長する保険です。まずは介護予防教室に参加して、介護保険を理解し、みんなで介護保険を育てていきましょう。



社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返し、退院の内祝等あたたかいご寄付をいただきました。

この浄財はご趣意にそい、社会福祉事業資金として活用させていただきます。ありがとうございます。

自 平成十九年五月一日
至 平成十九年六月三十日

芸北地区

【香典返しにかえて】

- ◇五月 米沢 塚升トキ子 亡夫 傳三
- 細見 岡本 末子 亡夫 三郎
- 細見 矢野 信子 亡夫 一幸
- ◇六月 中祖 国佐 哲悟 亡父 優
- 大利原 斉藤 孝子 亡父 美之

【退院の内祝いとして】

- ◇五月 才乙 四郎田邦夫
- ◇六月 奥原 今田 伍
- 空城 斉藤アキ工

【篤志寄付】

- ◇六月 川小田 上田 町子

大朝地区

【香典返しにかえて】

- ◇五月 九門明 六信 忠貞 亡妻シゲコ
- 枝の宮 向井 弘幸 亡母 藤本スヤ子
- ◇六月 田中原 佐々木照道 亡母イサノ
- 九門明 石津 誠三 亡妻 智子

【退院の内祝いとして】

- ◇五月 九門明 六信 忠貞 妻 シゲコ
- 西横二区 松田 昭治
- 平田 滝川 玉子
- 登 岩見 金枝
- 別所 角甲 正行

千代田地区

【香典返しにかえて】

- ◇五月 蔵迫 山手 義之 亡父 孝允
- 本井 森藤 文夫 亡妻 静子
- 川井 丸岡 裕子 亡夫 義行
- 王生 高野 英喜 亡父 忠喜
- 石井谷 堀田 英二 亡父 實
- 本井 森 達哉 亡父 徳夫
- 有田 小田ほづみ 亡父 照夫
- 寺原 垣内 悦子 亡夫 貢
- ◇六月 蔵迫 新谷 敏幸 亡母イチノ
- 王生 山尾 稔之 亡母 麗子

豊平地区

【香典返しにかえて】

- ◇五月 阿坂 田村 原則 亡母トシエ
- ◇六月 阿坂 佐々木英夫 亡母キク工
- 今吉田 井村 昌司 亡父 昭朗
- 東広島市西条 井村さつき 亡父 昭朗
- 安佐南区 亀田由美子 亡父 井村昭朗
- 中原 齋藤 實 亡母八重子
- 今吉田 前田 好子 亡夫 憲穂
- 今吉田 吉川 順子 亡夫 当

【退院の内祝いとして】

- ◇五月 阿坂 本多富士子
- ◇六月 吉木 寺川 博之

◎お詫び

北広島町社協だより「まごころ通信第7号」に次の方の記載がありませんでした。お詫び申し上げます。

【篤志寄付】

- ◇二月 刈屋形 足利 正紀

大朝ライオンズクラブから配食ボランティアグループつくしの会にゴルフ大会での収益の一部を寄付いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。つくしの会代表 すぎな

平成19年度北広島町社会福祉協議会会費について

住民の皆様には地域福祉推進に対し、ご理解ご支援を賜り深く感謝申し上げます。さて、社会福祉協議会は社会福祉法第109条で地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であると明記されており本会の役割は大変重要であると認識しております。だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを推進するためには住民の皆様方のご協力をお願いいたします。

つきましては、主旨にご賛同いただき、平成19年度会費を納入いただきますようお願いいたします。

会費は、社協の法人運営費や地域福祉活動に活用させていただきます。

◆会費 1世帯当たり 500円

◆納入方法 各行政区長・福祉委員へ取りまとめを依頼しています。

編集後記

夏も本番を迎え、これから暑さもだんだんと厳しくなっています。外へ出るときなど、暑さ対策を忘れないようにしましょう。また、子どもたちには楽しい夏休みがやってきますが、いろいろな事件や事故が身近に起きる毎日。子どもは地域の宝。地域のみんで見守っていきましょう。

評議員紹介

3月28日、5月28日の理事会において評議員25名が選任されました。任期は平成19年4月1日から平成21年4月1日までの2年間です。よろしくお願ひします。



栢藪 芳江
(中祖)



酒井 寛夫
(東八幡原)



下杉 美智
(溝口)



岡本 洋壮
(奥原)



榎畑 隆司
(南方)



沖野 靖子
(南方)



石川 洋子
(大朝)



影山 稔
(大朝)



梅田 貞子
(新庄)



松江 貞夫
(大朝)



岩崎 淑恵
(岩戸)



今田寿美子
(蔵迫)



花木 利明
(本地)



大佛 峰子
(壬生)



池神 隆
(川西)



沖野 喜正
(有田)



大倉 運恵
(後有田)



室畑 茂
(寺原)



朝枝喜代香
(志路原)



植木多美江
(阿坂)



神田 嘉信
(吉木)



梅田トモ工
(志路原)



坂本三千男
(戸谷)



清水 公三
(阿坂)



織田 堅
(川戸)



4月29日に大朝(わさ)祭りが開催されました。『でかけよおや』でお馴染みのガンバルーン体操を指導しているNPO法人コーチズのインストラクターがステージ上でガンバルーンボールを使った運動を紹介しました。会場の皆さんもボールを持って一緒に体と心を動かしていました。

2007-04-29

ガンバルーンボール体操
大朝(わさ)祭りにて

この広報誌は、みなさまからの会費や共同募金の配分金によりつくられています。

R100 古紙配合率100%の再生紙と、大豆油インキを使用しています。

まごころ通信 vol.8 **8**